

令和元年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	7.0	10	9	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	9.4	5.6	7.5	24	4	11
	加茂川橋	9.8	4.5	7.3	21	4	13
	藤橋	12	6.2	8.4	20	5	13
	中土手橋	11	6.1	8.0	40	6	21
	さくら草橋	11	5.6	7.9	22	7	15
鴻沼川	櫛引橋	9.2	3.5	6.1	29	3	10
	霧敷橋	15	7.5	12	6	<1	2
	新開橋	13	5.7	8.9	15	4	9
笹目川	市立浦和南高校脇	10	3.4	6.7	29	3	13
藤右衛門川	柳橋	8.7	3.6	6.2	26	5	11
芝川	船橋	9.3	5.2	7.0	16	1	6
	境橋	9.8	6.3	7.9	27	4	12
	大道橋	8.3	5.3	6.8	31	5	15
	八丁橋	10	5.1	6.8	36	7	21
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	5.1	7.9	33	7	17
綾瀬川	高野橋	11	4.7	8.6	110	6	20
	戸井橋	10	6.1	8.5	39	6	19
	啜橋	10	6.1	8.5	37	5	19
元荒川	城北大橋	10	5	8.2	27	6	14
	新曲輪橋	10	7	8.4	22	8	14
	永代橋	10	6.5	8.7	26	9	14
古隅田川	城殿宮橋	8.1	3.9	5.8	24	7	15

※鴨川(学校橋→藤橋):工事の関係で採水地点を一部変更しました。
 ※藤橋(1月)と加茂川橋(1,2,3月)は工事の関係で欠測となりました。

【用語説明】

DO(溶存酸素):水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質):粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。